

令和2年度事業報告

1 全般

令和2年度は、7月から約1箇月にわたって前線による大雨が続き、大雨特別警報が発令されるなど、梅雨の期間が長かった記憶が思い起こされます。また、新型コロナウイルス感染症の流行も夏頃は一旦小康状態となりましたが、年末から再拡大し、私たちの生活は大きく変わりました。

郡上市でも年末に感染者が初確認され、30人を超える状況となっています。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴って経済活動も全業種において多大な影響を及ぼしており、観光立市を目指す郡上市におきましても、観光飲食業では特に大きな痛手が続いています。こうした中にも、ようやくワクチンの接種が始まろうとしており、先行きに明るい希望がみえてきたところです。

こうしたコロナ禍における当センターの実績を総括しますと、コロナで始まりコロナで終わった令和2年度は、前年度の下半期からの鈍化が引き続き影響し、契約額ベースでみましても令和2年度の上半期は請負及び派遣事業ともに前年度を下回っていましたが、年明けからは前年度並みとなりました。しかし、前年度後半は勢いが鈍化していたことを鑑みますと、けっして持ち直したという状況に戻りつつある状況ではありません。結果的に請負・派遣を合わせた総契約額で昨年度に比し約2千万円の減少となりました。

一方、会勢の面では「第2次100万人達成計画」（以下、「100万人計画」という。）の3年目として544名の目標を与えられましたが、コロナ禍の影響もあってか、2箇年続いて同様退会者が入会者を上回る結果となり、480名と元年度末比で、8名減となりました。

また、事故の抑制については、当センターの大きな課題として捉えております。本人傷害事故が8件（元年度：3件）、対物賠償事故が2件（元年度：2件）発生しており、特に本人傷害が多い状況です。

さらに、適正就業という面では、平成28年9月に示された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づき年間を通じて就業状況の確認・是正を図りました。

2 就業機会の確保・提供

(1) 登録会員の状況

2年度末における会員の状況は、以下の各表の通りです。

ア 全般

	会員数	郡 上 市		
		人口	60歳以上	入会率
男	325	19,367	8,019	4.05%
女	155	20,257	9,661	1.60%
合 計	480	39,624	17,680	2.71%

イ 地区別会員数（人）

地 域	男	女	合 計	構成率	前年度比
八 幡	102	43	145	30.21%	94.16%
大 和	49	40	89	18.54%	102.30%
白 鳥	56	37	93	19.38%	103.33%
高 鷲	29	6	35	7.29%	97.22%
美 並	42	7	49	10.21%	100.00%
明 宝	20	11	31	6.46%	96.88%
和 良	27	11	38	7.92%	95.00%
合 計	325	155	480	100.00%	98.36%

ウ 年齢構成（人）

年齢層	男	女	合 計	構成率
～59歳	3	3	6	1.25%
60～64歳	13	10	23	4.79%
65～69歳	77	41	118	24.58%
70～74歳	116	42	158	32.92%
75～79歳	67	40	107	22.29%
80歳以上	49	19	68	14.17%
合 計	325	155	480	

エ 平均年齢・最高年齢（歳）

区分	全体	男	女
平均年齢	73.1	73.4	72.5
最高年齢		88	85

(2) 事業実績

ア 請負・受託事業

令和2年度の事業実績は、次の表のとおりです。

契約金額は、前年度比約1600万円減少しております。受注件数、就業延人員などの諸要素において、公共事業はあまり変わりませんが、コロナ禍における民間や家庭及び個人からの受注の減少が大きな要因考えられます。

区 分	2年度		元年度	
① 令和元年度末会員数（人）	480	男：325	488	男：335
		女：155		女：153
② 受注件数（件）	1,712		1,865	
公共事業	169		179	
民間事業	238		272	
家庭及び個人	1,305		1,414	
独自事業	0		0	
③ 就業延人員（人日）	30,707		33,283	
④ 就業実人員（人）	376		393	
就業率 ④／①（％）	78.3		80.5%	
⑤ 契約金額（円）	125,321,114		141,413,505	
公共事業（円）	40,223,088		40,811,945	
民間企業（円）	57,170,228		71,014,629	
家庭・個人（円）	27,927,798		29,586,931	
⑥ 配分金（円）	112,919,891		128,349,338	
契約金額に占める割合⑥／⑤（％）	90%		91%	
1件当たりの配分金 ⑥／②（円）	65,958		68,820	
1日1人当たりの配分金⑥／③（円）	3,677		3,856	
実働会員1人当たりの配分金⑥／④(円)	300,319		326,589	
実働会員の月間就業日数③／④÷12（日）	6.81		7.06	

イ 派遣事業

平成25年度から開始した派遣事業の契約金額は、令和元年度では前年度比で約315万円増加しましたが、令和2年度は前年度対比で約416万円減少し、一昨年度並みの2643万円となりました。

公共、民間のいずれも受注件数、契約件数が減少しており、派遣事業においてもコロナ禍における事業の中止や縮小も大きな影響を受けたと考えられます。事業実績は、下表のとおりです。

区 分		2年度		元年度	
①令和2年度末登録会員数（人）		89	男：84	79	男：74
			女：5		女：5
②受注件数（件）		25		42	
	公共（件）	17		27	
	民間（件）	8		15	
③就業延人員（人日）		4,887		5,527	
④就業実人員（人）		72		69	
⑤就業率（%） ④／①		80.9		87.3	
⑥契約金額（円）		26,431,721		30,593,935	
	公共（円）	11,283,419		13,099,905	
	民間（円）	15,148,302		17,494,030	
⑦会員平均賃金額（円） ⑥/1.2/1.09/④		257,719		343,840	

注：⑦の計算式中 1.09 は平均消費税率で除すもの。

ウ 機能別事業実績の状況

地域別の受注件数・契約金額の状況は表-1のとおりでした。

令和元年度に比して、受注件数は、白鳥と明宝地域では、ほぼ前年度と同じ件数でしたが、その他の地域では微減でした。また契約金額ではすべての地域で減っており、全体として約1600万円の減少となりました。

一方、職群別の事業実績は、表-2のとおりでした。

依然として公共施設の清掃、草刈り、剪定等の受注が相当部分を占めております。

表－ 1

地域別受注件数・契約金額の状況（請負・受託）

地域	受注件数		契約金額（円）		元年度 契約金額
				総 額	
八幡	公共事業	47	10,537,787	34,455,009	40,102,642
	民間企業	97	9,476,770		
	家庭・個人	671	14,440,452		
大和	公共事業	23	7,254,456	30,476,865	34,121,116
	民間企業	30	21,542,348		
	家庭・個人	97	1,680,061		
白鳥	公共事業	31	11,920,178	24,983,973	25,138,531
	民間企業	65	8,061,195		
	家庭・個人	191	5,002,600		
高鷲	公共事業	9	2,245,603	4,532,985	7,081,918
	民間企業	10	1,528,392		
	家庭・個人	50	758,990		
美並	公共事業	25	4,260,710	16,559,551	19,585,767
	民間企業	22	8,373,505		
	家庭・個人	171	3,925,336		
明宝	公共事業	14	1,021,752	8,540,359	8,917,530
	民間企業	10	6,761,619		
	家庭・個人	37	756,988		
和良	公共事業	20	2,982,602	5,772,372	6,466,001
	民間企業	4	1,426,399		
	家庭・個人	88	1,363,371		
合 計		1,712	125,321,114	125,321,114	141,413,505

表－2

職群別事業実績

職群	契約金額				(円)
	配分金	材料費	事務費	合計	(元年度)
技術群 経理事務 設備保守 等	26,400	150,000	2,221	178,512	181,104
技能群 剪定 障子襖張 塗装 大工 等	13,967,075	1,567,543	1,115,878	16,650,496	18,311,687
事務群 宛名書き 賞状書き 等	3,700	0	296	3,996	63,306
管理群 建物管理 公園管理 等	5,856,125	0	468,364	6,324,489	7,409,822
折衝外交群 水道検針 文書配布 等	2,713,655	19,530	239,580	2,972,765	3,652,098
一般作業群 除草作業 清掃 農林作業 等	86,597,245	1,045,922	7,101,112	94,744,279	106,994,018
サービス群 家事援助 等	3,755,691	50,484	640,402	4,446,517	4,801,470
合計	112,919,891	2,833,479	9,567,744	125,321,114	141,413,505

3 定時総会

(1) 日 時：令和2年5月28日（木）13：30～15：00

(2) 場 所：郡上市総合文化センター 多目的ホール

(3) 出席会員数：294名（出席：16名、委任状出席：278名）

(4) 議 案

ア 第1号議案 令和元年度事業報告（案）承認の件

イ 第2号議案 令和元年度計算書類等（案）承認の件 （監査報告）

ウ 第3号議案 役員選任の件

エ 第4号議案 理事長に対する権限委任承認の件

(5) 報 告

ア 第1号報告 令和元年度収支補正予算

イ 第2号報告 令和2年度事業計画及び収支予算

ウ 第3号報告 公益社団法人 郡上市シルバー人材センター会費規程

4 理事会等

(1) 理事会

回	開催日	議案（数字は議案番号）	出席数
1	4月28日 （火）	1 令和元年度事業報告(案)承認の件 2 令和元年度計算書類等(案)承認の件 3 役員選任に伴う候補者承認の件 4 理事長に対する権限委任承認の件 5 会費規程(案)承認の件 6 役員候補者の推薦に係る申合せ承認の件 7 令和2年度収支補正予算承認の件	理事:10名 監事:1名
2	5月28日 （木）	8 理事長、副理事長及び常務理事の選定の件	理事:11名 監事:2名
3	7月14日 （火）	9 会勢及び事業拡充推進要領の件 10 令和2・3年度専門部会委員(案)承認の件	理事:17名 監事:2名
4	9月10日 （木）	11 会勢及び事業拡充推進要領の件（2）	理事:14名 監事:2名
5	11月10日 （火）	12 地域における会員組織の充実の件 13 令和2年度第2次収支補正予算承認の件	理事:13名 監事:2名
6	1月12日 （火）	14 業務費見積単価改正案承認の件 15 班設置要領改正の件 16 令和2年度第3次収支補正予算承認の件	理事:16名 監事:2名
7	3月9日 （火）	17 令和3年度事業計画（案）及び収支予算書（案）承認の件 18 業務費見積単価改正案承認の件 19 班設置要領の廃止及び班設置要綱制定の件 20 令和2年度第4次補正予算（案）承認の件 21 事務局長退職に伴う常務理事留任の件	理事:17名 監事:1名

(2) 要請活動

令和2年度全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に基づき、8月21日（金）、理事長、副理事長及び常務理事（事務局長）の3名が郡上市長及び市議会議長に対し、市役所による事業発注の拡大及び現状の補助金の確保等について理解と支援の要請をしました。

(3) 専門部会

総務・企画、安全、事業、厚生及び女性の5部会がそれぞれの所掌に基づき、当センターの現状を踏まえ、今後の在り方について検討しました。

(4) 役職員研修会

10月6日（火）、連合会が主催した役職員研修会に理事長、常務理事（事務局長）が参加しました。内容は『ウイズコロナ時代における個人情報保護の実務』及び『令和時代のシルバー人材センター事業』の2つの演題でした。

5 安全就業の徹底

「安全は全てに優先する。」の基本的スローガンの下で、安全・衛生・適正就業対策基本計画を策定し、主として安全・衛生・適正就業委員会により会員の健康と安全・衛生・適正就業に関わる事項を検討し、年度を通じてその施策を推進しました。

(1) 令和2年度事故発生状況

ア 本人傷害事故：8件（元年度：3件）

イ 対物賠償事故：2件（元年度：2件）

(2) 安全施策の強化

ア 安全衛生大会の開催

毎年、安全衛生大会を開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度の開催は見合わせました。

イ 安全パトロール

随時現場を巡回し、保安用具の着用の確認等を行いました。

ウ 啓発活動

定時総会、理事会、地域理事・班長会及び局内会議などにおいて継続的に事故の発生状況とその教訓・対策を検討するとともに、「シルバーだより」などを活用しながら、会員の安全に対する意識の啓発に努めました。

ウ 令和2年度安全就業推進大会への参加

7月22日（水）に常務理事（事務局長）が連合会の主催する安全就業推進大会に参加しました。

エ 令和2年度安全就業対策研修会への参加

3月3日（水）、連合会が主催する研修会に安全部会理事等2名が参加し、「職場における新型コロナウイルス対策」と題した講演及び「剪定作業の安全対策」と題した業者説明を受けました。

オ 特定健診受診の啓発

毎年、病気を理由とする退会者が相当数に上ることから、病気の早期発見・

早期治癒を狙いに、八幡保健センターにお願いし特定健診の受診について啓発チラシを作成していただき、会員に配布しました。

6 適正就業の推進

「自主・自立・共働・共助」というシルバー人材センター事業の基本理念に基づき、発注者及び会員を主体に平成28年9月に発出された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の周知を図りつつ、就業時間及び契約形態の適正化に努めました。

7 就業能力の向上及び人材育成

一方、当センターとしては、剪定要員の高齢化に伴う後継者の養成と技能向上を狙いに一昨年度の7月頃、庭園管理（剪定）講習を実施していましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を見合わせました。

8 普及啓発活動

(1) 「シルバーだより」の発刊

四半期ごとに「シルバーだより」を発刊し、会員の状況、事業実績、事故事例、求人情報、新入会員などの紹介に努めるとともに、事務局からの連絡・要望事項等を掲載し、情報の共有とセンター及び会員としての当面の重視・留意事項等について周知・普及に努めました。

(2) 長良川鉄道での車内広報

昨年10月から中濃地区の市町のシルバー人材センターと協力し、通年で車両内にポスターを掲示し、会員募集とシルバー人材センターの業務の紹介に努めています。

(3) 入会説明の柔軟な実施

本所及び北部支所において随時入会説明を行い、入会予定者に対してシルバー人材センター事業の趣旨、就業内容・要領、安全・適正就業等、必要な事項を周知・徹底するとともに、入会時の不安の除去に努めました。

入会に際しては、従来、時期を固定して入会説明会を開催しておりましたが、来場者を待つことなく、入会希望者に対して即説明を行い入会意思崩れ防止と早期の就業に繋げています。

9 組織活動

毎月、理事長を交えた局内会議を、地域理事・班長会を必要の都度開催し、センターとしての有機的な組織活動に留意しました。

(1) 局内会議

毎月中旬に事務局職員の会議を開き、主要業務と対応、会員及び事業実績の現状と拡大策や当面の業務の焦点と具体的業務遂行要領、理事会等の会議・研修の

紹介等、連絡事項などを議題にして職員間の情報共有を密にして円滑な事務局業務の遂行に努めました。

(2) 地域理事・班長会

市内各地域で、地域理事・班長会が開催されています。

各地域における現状や問題点、改善策の検討、今後の活動等について更に踏み込んだ協議等の活動が期待されます。

地域	開催日	内 容
八幡	5月18日(木)	・ボランティア活動、安全就業について
和良	10月21日(水)	・ボランティア活動、事業実績について

10 地域奉仕（ボランティア）活動

シルバー人材センター事業の普及啓発活動の一環として、例年各地域で地域奉仕活動を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の観点から令和2年度は明宝、和良地区のみの実施となりました。

コロナ禍において、各地域の会員が一堂に会する機会がない状況が続いていることから、より多くの方々が参加され奉仕活動を通じて「社会参加、仲間づくり」などシルバー事業の側面的な意義を実感できる場を作っていくためにも、コロナ収束後の再開を期待しています。

地域	期 日	内 容	参加者
明宝	7月28日(火)	振興事務所周辺の草刈、草取、剪定、清掃	12
和良	11月11日(水)	町民センターグラウンド周辺の立木剪定等	21
美並	12月6日(日)	振興事務所周辺の剪定他	13
合 計			46

【事業報告の附属明細書】

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。